



刊夕日五月四

常盤文藝 佐藤義家

◇ ぎ寶珠やみ橋のちかまに雪のこる今朝の陽のごかに我にのぞめり

◇ かけめぐるましらはらはら荒したる狭山の雪はまばらに見ゆる

◇ 静み行く我部屋近く鼻鳴く鳴く音さきつゝ飽かす書を讀む

◇ なごりなく晴れ行く心我愛つゝ小徑を辿り青き春見ぬ

書いては捨て捨てては拾ふ此の紙の歌に今宵は何故か引かるゝ

◇ 餌を求め小庭にいたる鶴の姿はいとし風なき夕べは 小野 生

◇ 風の音に立聞く人のあるやと窓明けて見れば星の流れて

◇ 逢ひしなば言葉も出さず逢はざれば逢はむと思ふ初戀の頃

◇ 恨みつゝ待ちて佗びにし夜乃閉れば涙の色の曉のこゝろ

ことうきよ

◇ 地 果の淋しらに住む佳き人の歡きのごとし今日ふる雨は

◇ 地を這いて煙流れぬ遙かなる山里の村の暮れ行くを見

◇ 鳴き初めし幼蛙の聲きけば思ふにあらねど何か悲しき

◇ 思ひごも思ひごもなほ己が家と覺えぬ家け果なく佗び

大 京都齊
廉 **ヒナ人形**
賣 小道具一式
玩具行商人 數名募集

いづや
二丁目(電六四九)

學生カバン
卸し賣り
最特品五拾錢ヨリ
一個でも卸賣致し
玩具、文具、書籍、糸類
問屋 **森下商店**
平町二丁目
まみや 號

製パン開始
謝恩大賣出し
四月五日より 五日間
九日まで

期間中五十錢以上御買上の方に一割に相當する景品を進呈致します

シヤムパン	一個	五錢
クリームパン	同	五錢
ブルームパン	同	五錢
あんぱん	同	五錢
食パン	一斤	十六錢

その他數種
ふつくとらとして柔かい飛切
おいしい松本屋のパン
ぜひ御試食下さい
平町四丁目(電話二二四番)
マツモトヤ

ヒナ人形陳列會
珍形ヒナ人形や
小道具類は.....
平町四丁目(電七二二)
スガノヤ提灯店

眼藥亭久月
特製雛人形賣出し
小店員入用
三丁目
金太郎玩具店

セメント
壁用材料
コールター
ペンキ塗料
板ガラス

警城セメント株式會社
代理店 **西村屋藥局**
平町二丁目(電三)

高田の馬場
傳流的芝居的安兵衛を離れる眞の安兵衛は? 劍の人の酒の人百々の助! 當り藝百々の助が安兵衛か! 安兵衛が百々の助? 定評あに過然ならずや
叔父六郎左衛門の敵討ちたる廿四才前後と聞く
學國一致 全十卷
マキノ秘藏第二篇完成
嵐長三郎努力快篇
神文美少年録
百萬兩秘聞
春水主税は吉兵衛の十手劍に圍まれば生命如何に? 鶴すむ沼の百萬兩誰れが手に?
來週 **觀音丹次**
上映
料金特に普通
マキノ **有聲座**
帝キネ

意要御の春
服洋供子・傘洋人婦
折中春・ツヤシワ
店商ヤルツ
(番十四白話電) 目丁四町平

今大好評賣レルハク
御土産ニ御進物ニ御旅行ニお茶會ニからた會ニ
絶対限り平驛前ホテイヤの
薄皮まんぢゅう
製造本舗
薄皮饅頭 別製最中
布袋屋菓子舗
電話三五六番呼
徒弟募集 十三四歳位ノモノ三人 希望者御來談ヲ乞フ

大谷時計病院
院長 博士 敬白
電話一九番

診察無料
如何なる重患でも直ち癒る三丁目の大谷へ御出下さい

名特 入手 拭供
福島縣平町五丁目
吉田屋 染工場
(電話五五八番)
(振替台五三二八番)
十二歳以上十七歳まで
招待その他は面談の上お相談いたします
(通知次第参上)

内科 小兒科 花柳科 (需應院入)
平町紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

季節向御料理大勉強
愈々公園の節
松ヶ岡公園池ノ端
廉賣 第一 割烹 と さ は
親切 電話二二六番



花時に臨時列車の 運轉實施を熱望

平町有志連奮起し 水戸運輸事務所へ陳情

平の櫻花を東北の櫻花たら
じめんと従來これが宣傳に
努めて來た町役場では同町
の發展上徹底的に平の名所
を一般に紹介すべく種々計
畫中であるがこれが擴張計
畫として本年から花の季節
中だけでも平を中心として
南は茨城縣高萩あるひは助
川あたりまで午後十時から
十二時位までの間に
臨時列車の運轉實施を熱
望し町有志によつて協議を
進められ近日中に水戸運輸
事務所に向かつて代表者が
陳情に出頭する事となり平
驛長の諒解も得ておまが現
在では午後八時五十分が平
發高萩行の終列車で茨城縣
北部

利息を一定

平署長訓示

平警察署には來る七日午
後一時から同署樓上で質屋
業者を招集し利息を一定す
る事や其他に關し猪狩署長
から訓示ある由

仙臺平出品

郡山博覽會へ

平町三丁目三井吳服店では
東北織物の權威として愛用
されてゐる仙臺平が技術進
歩の結果益々時潮に適した
理想的優良品を製織する
に至つたので目下郡山市に
開催されてゐる全國商工博
覽會へ仙臺平を出品してそ
の宣傳に努めてゐるがその
他ネル地木綿等の代表的質
用織物も出品してゐる

宇垣大將の 講演を傾聴

平青年總會

平青年團にては昨夜幹部會
を開き春季總會に關し協議
を遂げたが昨報宇垣大將の
講演會を機とし開催する事
となり十日午後一時大越中

稻種浸水

五日乃至七日間

石城郡神谷村農事試驗分場

では數年來水稲種子の浸水
期の試験を行つて來がその
統計によれば浸水期間は種
子が水分吸収の最調和點に
およぶ五日目乃至七日間が
最好成績でそれ以上浸水し
ておけば苗代における發芽
が甚だしく延滞する而して
場所池沼などより流水す
る河川が最もよいと

余は…… 斯く感じて自決せり

町會議員を辭職した 阿部政右衛門氏語る

昨報町會議員を辭職した
阿部政右衛門氏は語る
「本村氏の危機を見るに忍
びず遂に應援運動に深入り
した結果でありまして町民
諸君に深く謝さねばならま
せん、而して私が町會議員に
出馬した當初の最
大理由は例の大瀧問題に關
し町百年の大計と信じて奮
起した爲めであつて今や同
問題も解決の境に到達した
事であつて見れば私の使命
の大半は既に是れを盡した
と云つても過言ではないと
信じます、故に此際其罪の
大小を論せず
多少なりとも法網
に觸るる行爲のあつた私と
してはいささよく辭職すべ
きが當然と感じ辭表を提出
し一方裁判所よりの略式命

請負師大會

平町で開く

濱街道二區の主催に係る縣
下土木建築請負業組合第廿
回大會は來る十五日午前十
時から平町元石城郡會議事
堂において開催すべく目下
そつと準備中である

一名慘死す

町田堅坑で

石城郡内郷村大字宮字竹の
内房住相馬郡新館村大字關
澤字中頭生れ磐城炭礦坑夫
庄司半七（三）同後山夫同村
大專な着物を着たしにして
しまひます。また洗濯する
にも特殊な方法が必要であ
ります。即ちその方法は火
匙、杯位の粉を輪に對する
水一ガロン、即ち約二升五
合の水の割合ひでよく熱湯
で溶解し、石鹼液を拵へ、
それに水を割つて微温湯を
拵へます。その石鹼液の中



モスリンの洗濯

ご其の保存法
モスリンの保存法は他の織
物に比較して少々考慮しな
いと虫の害を被りやすく、

素晴らしい自動車網

平町を中心にして十線の多數に及ぶ

平町は近年著き發展を見
殊に同町を中心にして張られた
自動車網は實に十線の
多數に及ぶ

事故と違反

昨年中に於て

平署管内の昨年中に於ける
自動車事故は四十三件で其
内負傷したのが四十七人、
即ち死が四人である、又違反
別を見るに無免許運轉八、
住所就業地を届出ないのが
十二、雇人届出を爲さずし
て十二、検査證なき自動車

自動車業に 嚴重な警告

厳重な警告

昨年の自動車事故頻發に鑑
みた平署にては本日午後二
時より管内の自動車業者を
集め猪狩署長から嚴重に注
意を促す所あつた由

出来秋よ 賣つた方が

よかつたと

農家は吐息
「昨今の米安に泣く」
石城産米の本年三月中の相
場と前年公期の相場と比較
すると昨年は石三十五圓六
十錢であつたのに本年は二
十九圓五十五錢と六圓十錢
方の下値にあり甚だしき底
落を示してゐるため地方農
村のこれにより惱まされる
影響は頗る甚大であるが殊
に本年は農業倉庫等を利用
せざる程その効薄く損出
加重の嫌ひ免れず昨年の出
來秋においてこれ等を利用

磐崎道路修繕

石城郡磐崎村消防組にては御大

典記念として隔離病舎に通
ずる道路修繕の爲め五日か
ら組員全部出勤工事に着手
すると

感謝状を贈呈

青關長途騎乘を斷行し世界

野村備田彦之進氏に對し中
央畜産會頭男爵平山成信氏
は今回本縣を通じ感謝状を
送つて來た

兎の耳

本物の百圓札

午後五時頃南千住驛附近か
ら集めた塵芥を鹽入塵芥場
へ運んだ際、塵芥の中から
百圓札を發見し、居合せた
仲間五人に見せたが「なあ
にこりや廣告だあね」とい
ふ鑑定、それでは子供のお
もちやにしようと思はる（四）が
歸つたところ妻はる（四）が
「お前さんこれは本物さ」で
吃驚、早速南千住署へ届け
出た、署員から「一年たつ
て落とし主が判らなければ
お前が貰へる」と聞き額を
叩いて引さがつた